

イヒナビ

vol.17 *ihinavi*

April-1/2025

旭化成ホームズ株式会社
東京法人支店

家を建てるなら、絶対利用したい補助金制度

補助金について学んでみよう！

**首都圏で活用できる3つの補助金を
解説します！**

マイホームのための 補助金について学んでみよう

今活用できる補助金は、この3つ！

首都圏エリアで活用できる主な補助金は、国で支援している「ZEH補助金」、「子育てグリーン住宅支援事業（GX志向型住宅補助金）」、そして東京都の「東京ゼロエミ住宅導入促進」があります。それぞれどのような補助金なのか解説していきます。

ZEH補助金とは？

ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは、断熱性・省エネ性能を高め、太陽光発電などの再生可能エネルギーを活用することで、年間のエネルギー消費量を実質ゼロにする住宅のことです。政府は、環境に優しく快適な住まいづくりを推進するため、ZEH住宅の建築に対して補助金を交付しています。補助金額は、住宅の性能や設備によって異なりますが、一般的なZEH住宅で55万円/戸、より高性能なZEH+なら100万円/戸の補助が受けられます。



ZEH補助金 注意点

3つの注意点を確認
しておきましょう



①ZEH基準を満たすこと

一次エネルギー消費量を基準より20%以上削減し、再生可能エネルギーを活用することが求められます。

②ZEHビルダー（登録事業者）による施工

補助金を受けるためには、国が認定した「ZEHビルダー」によって設計・施工される必要があります。

③申請期限を守ること

補助金には申請期間があり、予算が上限に達すると受付終了となるため、早めの準備が大切です。

子育てグリーン住宅支援事業 (GX志向型住宅補助金) とは？

子育て世帯や若者夫婦世帯を対象に、環境に優しくエネルギー効率の高い住宅の取得を支援する制度です。特に、高断熱・省エネ性能を備えた住宅の建築・購入に対して、国が補助金を交付します。

【補助対象となる世帯】

- 子育て世帯：18歳未満の子どもがいる家庭
- 若者夫婦世帯：夫婦のいずれかが39歳以下



【補助金の対象となる住宅】

GX志向型住宅補助金の対象となるのは、以下の基準を満たす新築住宅です。

- ZEH基準を満たした省エネ性能の高い住宅
- 一定の省エネ性能を満たした中古住宅の購入



補助金額の目安としては、住宅の種類や性能に応じて、80万円～140万円/戸の補助が受けられます。また、地域の特性や住宅の性能によって加算措置が適用されることもあります。

【申請のポイント】

- 補助対象となる住宅を建築・購入すること
- 認定を受けた工務店・ハウスメーカーを利用すること
- 申請期限内に手続きを行うこと
(予算上限に達すると締切)





東京ゼロエミ住宅導入促進事業とは？

「東京ゼロエミ住宅」とは、高い断熱性能の断熱材や窓を用いたり、省エネ性能の高い照明やエアコンを採用した都独自の基準をもつ住宅です。

【基準】

	UA値 単位/ ㎡・K	一次削減率	
		戸建て住宅	集合住宅
水準A	0.35以下	45%以上	40%以上
水準B	0.46以下	40%以上	35%以上
水準C	0.60以下	35%以上	30%以上

【助成額】

1戸あたり

	戸建て住宅	集合住宅
水準A	240万円	200万円
水準B	160万円	130万円
水準C	40万円	30万円

【申請のポイント】

- 東京都の認定基準を満たす住宅を新築・改修すること
- 補助対象となる設備を導入すること
- 申請期間内に手続きを行うこと
(予算上限に達すると受付終了)



補助金申請も 私たちがサポートします

今回、活用できる3つの補助金についてご説明をさせていただきました。大切なのは、申請方法をきちんと確認をし、申請期限を守ることです。さらに子育てグリーン住宅支援事業（GX志向型住宅補助金）では認定を受けたハウスメーカーを利用しなくてははいけません。私たちは、多くのお客様の補助金活用のサポートも行っておりますので、お気軽にご相談ください。

ヘーベルハウスはZEH基準を 超えそれを維持する。

ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは、断熱化・省エネ化・スマートエネルギーの活用により、年間エネルギー消費量がゼロ以下となる住まいのこと。

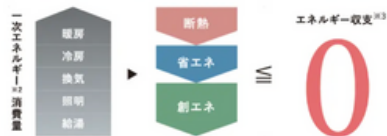
そんなZEHが住む人にも家計にもやさしいのは当たり前。その性能をいかに長く保てるかが重要なポイントです。

ヘーベルハウスの断熱基準

断熱等級6^{※1} UA値 ≤ 0.46 以下
ZEHの高断熱基準は「0.6以下」
UA値：外皮平均熱貫流率。値が小さいほど熱の逃げにくい家となります。

〔ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）〕

断熱・省エネ・創エネを組み合わせでエネルギー収支がゼロ以下になる住まい



LONGLIFE ZEH

耐久型断熱だから、ZEH基準を超える性能が長く続く

※1 建築エリアによって断熱等級の基準は異なります。

※2 一次エネルギーとは、自然界に存在している形そのまゝのエネルギーのことで、石油・石炭・天然ガス・発電用の水力・太陽光などを指します。

※3 年間の一次エネルギー収支が正値（ネット）でおおむねゼロ以下。

ヘーベルハウスの「LONGLIFE ZEH」は、国が定めるZEH基準を超え、ロングライフという視点で耐久性の高い断熱材と自然の恵みを活用。環境や家計にもやさしいプランニングです。



<編集後記>

現在、建築資材の高騰や、金利の上昇から、マイホームを建てることに躊躇されている方も多くなっております。

しかし一方では、大きな災害などの発生率も高まり、なるべく早く災害にも耐えられる家を建てたいと思われている方も多いのが現状です。

今回は補助金についてご説明をさせていただきました。補助金を活用することで資金面での後押しができ、マイホームも建てやすくなります。

しかし補助金申請は複雑で、私どものお客様でも、ご自身で申請を行う場合、書類に不備があったり、申請期間が間に合わなかったりしてしまい、適切な申請ができなかったケースもございました。

私たち東京法人支店では、補助金の申請に関してもお客様のサポートをさせていただきます。いくつもの補助金申請の経験もございますので、お客様が活用できる補助金の情報もお伝えし、申請までのサポートも対応しますので、お気軽にご相談くださいませ。